

平成22年度
経済産業省委託事業
サプライチェーン
省資源化連携促進事業

Green

参加企業チーム大募集！

Supply

グリーンサプライチェーン

Chain



サプライチェーンでスリム&ecoなものづくりははじめませんか？

専門家が無料で
診断・改善提案を行います！

■ サプライチェーンとは

この事業では、製品の製造における川上(素材事業者)から川中(部品製造事業者)、川下(製品事業者)までの独立した企業間の連鎖を指します。

■ グリーンサプライチェーンとは

本事業では、省資源化に取り組むサプライチェーンをグリーンサプライチェーンと位置付けています。



社団法人 産業環境管理協会
Japan Environmental Management Association for Industry

サプライチェーン省資源化連携促進事業とは？

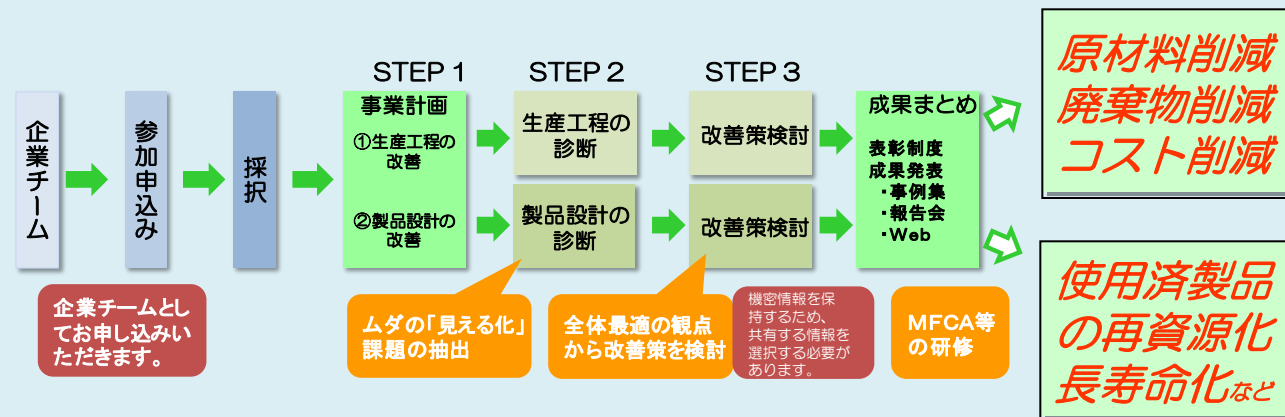
専門家が生産工程や製品設計の診断を行い、次の支援を行います。

[A] 生産工程の原材料ロス削減

[B] 省資源化のための製品設計改善（環境配慮設計＝DfE）

それにより、サプライチェーン全体における資源投入量の抑制（資源生産性の向上）を図ります。

*上記[A][B]のいずれか、もしくは両方の支援を受けることができます。



[B] 省資源化のための製品設計改善（DfE）

製品ライフサイクル全体での省資源化につながる製品設計に重点を置いた支援を行います。

■使用済製品のリサイクル・リユース容易性設計
例) 解体容易性の向上、素材の統一、リサイクル可能な素材への変更

■製品の長寿命化設計
例) 耐久性、信頼性、アップグレード性、修理・保守容易性の向上

■製品の減量化、その他
例) 小型・軽量化、仕様の統一、消耗品削減

平成20・21年度事業の取り組み実績

オムロンリレーアンドデバイス(株)チーム
H21年度サプライチェーン省資源化モデル大賞

[目標]
資本関係のない加工委託会社4社におけるマテリアルロス10%削減

[診断]
4社を通じたMFCAにより、主材料、レアメタル、エネルギー等の課題を抽出

[成果]
材料・工程最適化と、情報伝達活性化により、自社の枠を超えた改善活動を展開

(株)アサヒチーム
H21年度グリーンサプライチェーン賞

[目標]
アウトソーシング企業との連携による省資源化と競合他社との差異化

[診断]
MFCAによりロスの大きさを共通認識し、新たな視点で改善ポイントを抽出

[成果]
3社協働で塗料等のロス削減に取組み、投入コストの20%削減効果を確認

(株)ミツバチーム
H21年度優秀カイゼン賞

[目標]
川上から川下までトータルでのロス削減による資源利用効率の極限追求

[診断]
MFCAによる課題の可視化により、不良率削減のための設計改善点を抽出

[成果]
新製品において
・コスト15%削減
・製品重量13%削減

パナソニックエコシステムズ(株)チーム
H20年度サプライチェーン省資源化モデル大賞

樹脂シートのサプライヤーとの間でロス情報を共有し、シート幅の最適化により副産物発生を11%削減。副産物リサイクルも実施。

倉敷化工(株)チーム
H20年度グリーンサプライチェーン賞

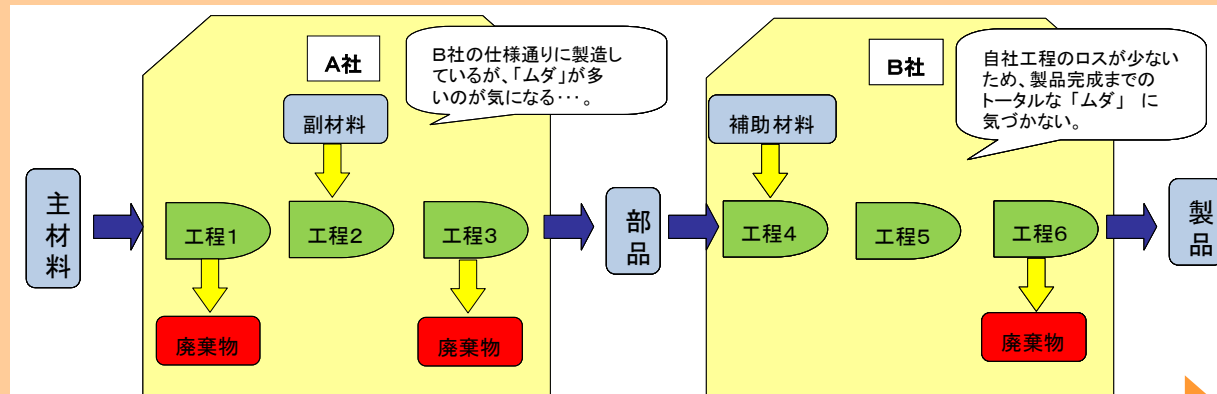
副産物の処理方法によるコスト・環境負荷削減効果の違いをMFCAとLCAを活用して評価。リサイクルによる両方の効果を確認。

(株)コイズミ照明チーム
H20年度優秀カイゼン賞

品質管理基準見直しにより、機能や美観に関係しないキズのある部品を不良品として扱うことをやめ、サプライヤーでの廃棄物を削減。

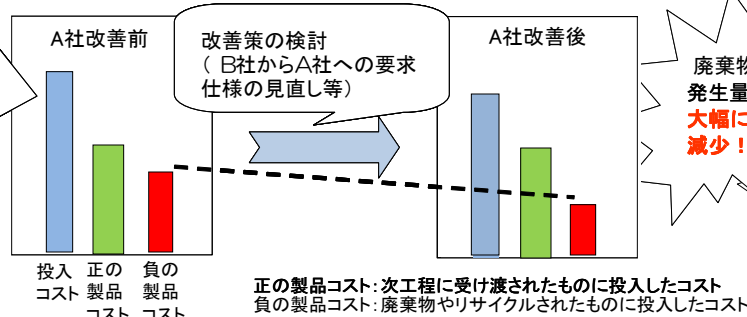
[A] 生産工程の原材料ロス削減

生産工程ごとに「ムダの見える化」を行い、単独企業では困難なリデュース対策への支援を行います。



各社ごとにムダを「見える化」し、サプライチェーンで情報共有！

MFCA等を活用し、専門家が企業チームの生産工程を診断。個別企業の診断結果を企業チーム内で共有。(機密情報を保持するため、共有する情報を選択する必要があります)



「ムダの見える化」による効率的なリデュース対策、省資源化のための製品設計改善を支援します。

マテリアルフローコスト会計(MFCA)とは？

製造プロセスにおけるエネルギー・投入原材料などのムダを物量・金額単位で測定し、廃棄物・排出物の原価を算定する手法で、コスト削減の重点ポイントを見出すことができます。ISO14051として国際標準化が進められています。

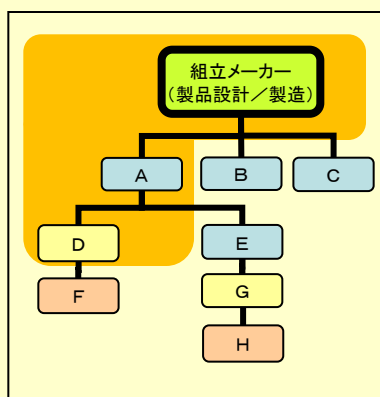
環境適合設計(DfE)とは？

製品の企画・初期設計段階から、製品のライフサイクル全般における環境影響を考慮して開発を行うことで、製品アセスメント、環境調和型品質機能展開(QFDE)、ライフサイクルアセスメント(LCA)などの手法が用いられます。本事業では、資源の有効利用につながるDfEを支援します。

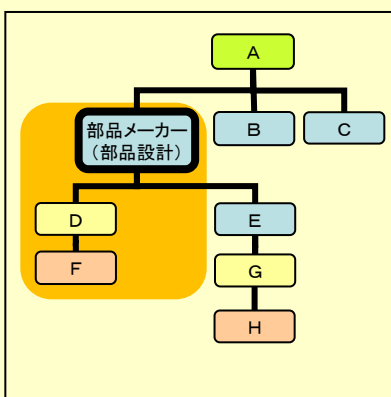
対象となるサプライチェーン企業チーム

1 製品の製造に関わる2～5社程度から構成される企業チームを募集します。
(中小企業を含むこと。**製品分野や業種は問いません。**) 下記の各タイプは一例です。

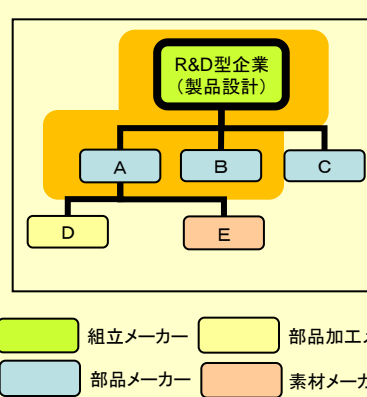
組立メーカー主導型



中間部品メーカー主導型



R&D型企业主導型



■ 組立メーカー (緑)
■ 部品メーカー (青)
■ 部品加工メーカー (黄)
■ 素材メーカー (赤)

応募方法

■ 応募方法

応募申請書は、サプライチェーン企業チーム代表企業の方のお名前にて、Eメール、郵送、ファックスにより、当協会内の事務局までご提出ください。
なお、本申請要綱、応募申請書等は、本事業ウェブサイトから電子ファイルをダウンロードできますので、ご利用下さい。

■ 募集期間

平成22年8月9日(月)～8月31日(火)13:00

なお、募集期間内に定数に達しない場合、追加募集を行います。追加募集は、本事業ウェブサイト等にて、ご案内します

本事業について詳しく知りたい方へ

本年度事業ホームページ

<http://jemaisc.com/h22/> (8月上旬に公開予定)

本事業に関するお問い合わせ先

サプライチェーン省資源化連携促進事業 事務局
社団法人 産業環境管理協会

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2-2-1 三井住友銀行神田駅前ビル
[TEL]03-5209-7708 [FAX] 03-5209-7716
[E-Mail] sc@jemai.or.jp